**報告様式記載の手引き**

１　第1種共同漁業権（様式第１号　記載例参照）

1. 免許の内容

漁業権の免許番号，種類及び漁業の名称を記載する。

1. 漁場の活用の状況

組合員行使権者の数（人），延べ操業日数（人・日），対象期間中の漁獲量（㎏）を記載する。

※　延べ操業日数（人・日）及び対象期間中の漁獲量（㎏）は，現地調査や聞取り，仕切りや操業日誌等から把握する。

（３）資源管理に関する取組の実施状況

「資源維持増殖等のために実施している取組」には，種苗放流，休漁日，漁場整備等の取組を記載する。

　　「その他の取組」には，水産業の体験学習や水産教室の開催等を記載する。

２　第５種共同漁業権（様式第２号　記載例参照）

（１）資源管理に関する取組の実施状況

有する漁業権全般について，「漁業権行使規則の取組実績」，「資源維持，増殖等のため実施している取組」，「その他の取組」について記載する。

（２）漁場の活用の状況

漁業権毎に，組合員行使権者数を記載する。

また，漁業種類（漁業の名称）別に，組合員行使権者数と組合員延べ操業日数を記載する（※　漁具・漁法毎に記載しなくてよい）。

1. その他

「遊漁料収入状況」，「魚種別増殖実施量」については，内水面漁場管理委員会のアンケート等で報告済みの場合は，その旨を記載する。

「魚種別採捕量（参考様式第2-1号）」については，有する漁業権全般における，行使者及び遊漁者の採捕量を，組合員からの聞取り，漁場監視，遊漁者アンケート，遊漁券の発行枚数などから把握して記載する。

単位は把握可能な単位で可とする（㎏，匹，尾など）。

同様の内容が記載してあれば別資料（業務報告書の写し等）での提出も可とする。